

## 吹田市商工ニュース

COMMERCE AND INDUSTRY NEWS

### 目次

- ◆ 平成24年度(2012年度)吹田市商工業振興施策について…………… 2・3
- ◆ 拡大するシニア消費を追う～シニアがいきいき活動する場づくり～  
…………… 4・5
- ◆ SUIT Aについてお知らせです。  
東京都足立区の商店街における空き店舗活用事業を御紹介します！  
…………… 6
- ◆ ビジネスコーディネーター訪問記Vol.4…………… 7
- ◆ 第8回神崎川畔さくらまつり  
地元密着型観光情報誌「すいたHoHoHo」好評配布中！…………… 8

#### 【神崎川畔さくらまつりの様子】



4月7日(土)に神崎川畔さくらまつりが開催されます。

ロハスイベントやステージ演奏、リバーサイドカフェなどで楽しみませんか？また榎木橋から高浜橋まで、各企業のスタンプを集める「そぞろ歩きスタンプウォーク」や榎木橋～高浜橋をめぐる「神崎川さくら丸」のクルージングなど盛りだくさんです。詳しくはP8を御覧ください。

# 平成24年度(2012年度) 吹田市商工業振興施策について

平成24年度の吹田市の主な商工業振興施策を次のとおり御紹介します。詳細については、産業にぎわい創造室（4月からは地域経済振興室に名称変更）までお問い合わせいただくか、下記の商工業振興施策などをより詳しく掲載した「吹田市商工業施策ガイドブック」を発行しましたので、ご希望の方は御連絡いただければお渡しします。

## 新規事業

### 企業情報収集・支援事業

市内中小企業を訪問し、企業経営者等との面談の実施による情報収集を行うことで、各企業の事業展開に対する支援や、企業間交流及びマッチングを推進するための支援を行います。

### 知的財産権取得事業補助金

特許権及び実用新案権の取得を行った市内中小企業者に対し、取得に要した費用の一部を補助します。

### 展示会等出展事業補助金

販路開拓を目的とした展示会、見本市等に出展した市内中小企業者に対し、出展に要した費用の一部を補助します。

## 継続事業

### 商工業団体事業活動促進補助金

商工業団体が実施した活性化のための事業（調査研究、研修及び催事）に対して、その事業費の一部を補助します。

### 商店街等商業共同施設設置事業補助金

商店街等が商業共同施設（カラー舗装・街路灯・アーケード等）を設置又は補修した場合に、その事業費の一部を補助します。

### 商店街等設備近代化促進利子補助金

商店街等が設備の近代化のための事業資金を金融機関から借入れた場合に、借入金に対する利子の一部を補助します。

### 商業活性化コンサルタント派遣事業補助金

運営改善等を検討する商店街等に対し吹田商工会議所がコンサルタント派遣した場合に、要した費用の一部を補助します。

## 商店街等魅力向上促進事業補助金

商店街等が実施した「経営改善」や「まちづくり」などの視点から取組む先導的な事業や空き店舗活用事業に対して、その事業費の一部を補助します。

## 商業相談事業

市内小売商店の経営体質の強化や各商業団体の経営近代化の促進を図るため、中小企業診断士による市内相談窓口の設置（毎月 第三木曜日）及び市内の巡回相談（毎月 第二・第四木曜日）を実施します。

## 情報発信事業

市内の商工業者に対して、各種関連情報を様々な方法で提供します。（FAX商業情報・商工ニュース）

## エコアクション21認証取得事業補助金

エコアクション21の認証を取得した市内中小企業者に対し、認証取得に要した費用の一部を補助します。

## 中小企業大学校受講補助金

市内中小企業者又はその従業員が経営に必要な知識を学ぶため、中小企業大学校の研修を受講した場合に、受講料の一部を補助します。

## 中小企業資金融資事業

中小企業者に対する融資相談を行います。大阪府経営安定資金・東日本大震災対策資金・吹田市小企業者事業資金融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成します。

### ～補助金の交付を申請される方へ～

地域経済循環の観点から、補助金を受けられる際、補助金の補助対象費目の請負先は **市内業者** へ指名及び発注をしてください。

**お買物は市内店舗で、発注は市内業者に！  
市内調達力の向上で地域経済を活性化させよう！**

### 《問い合わせ先》

市役所産業にぎわい創造室※ 商工担当  
(4月から地域経済振興室に名称変更)

TEL : 06-6384-1356

FAX : 06-6384-1292

# 拡大するシニア消費を追う

～シニアがいきいき活動する場づくり～

なかぼう ひさつぐ  
吹田市商業相談員・中小企業診断士 **中坊 久継**

## シニア消費は拡大する

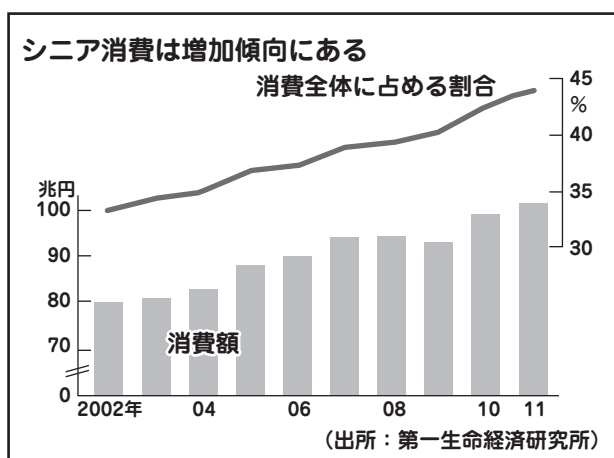
少子高齢化の進展が、多方面に直接的な影響を与えていますが、今年の1月21日の日経新聞夕刊に「シニア消費100兆円」という記事が一面のトップに掲載されました。これは、2011年の年間消費支出においてシニア世代（60歳以上）が全体の44%を占め、100兆円を超えたという内容を伝えるものでした。

また、今年（昭和22年（1947年）～昭和24年（1949年）生まれ）が65歳を超える最初の年にあたり、大量の退職者が出るとされています。これらを全体的に見わたしますと「着実にシニア市場の拡大」が見込まれ、消費の中心は「シニアにあり」といっても言いすぎではありません。

一方では、シニア消費が膨らみつつあるにもかかわらず、その伸長ぶりが見えてきにくい部分があります。それは、シニア消費の特性として「多様性」が強くなり分散していること、それにまだまだシニア対応サービスが成熟していないことなどが理由とされています。

本年は、いよいよシニア消費の取り込みを狙う商戦がさらに活発化していくものとみられ、ビジネス分野でも知恵とアイデアを結集してマーケティング展開が行われることになりそうです。

**シニア消費100兆円**  
昨年、個人消費全体の44%



## シニアの消費特性は

シニア消費の特性は「多様性」が強いとされているのですが、その中でも特に団塊の世代の消費特性へのアプローチに重点がおかれています。こ

の世代は過去40年間、わが国の消費をけん引してきた世代であり、今後ともに消費市場に大きな影響力を持つものと見られています。

その代表的なものを取り上げますと、

- 行動派感覚・・・実年齢よりも若い感覚での生活志向があり、加齢による身体・精神の衰えを保護する。⇒アンチエイジング産業
- 趣味・文化感覚・・・幅広い分野で種々のスキルと感性を保有しており、コダワリ感覚が強く、自分で実行すること、場合によっては教えることに生きがいを感じる  
⇒ホビー・カルチャー産業
- 自立・創出感覚・・・コミュニティビジネス、趣味ビジネスなど自立型のワークビジネスを創出する⇒サービス・ビジネス

アンチエイジング分野では、「若さを維持する」をテーマに、化粧品・スポーツ・食品・ファッション業界など、またフィットネスなどをはじめとしてサービス業界でも、幅広い対応のための活動が開始されています。

ホビー・カルチャー分野では、旅行・観光・シニア大学・シニアサロン・資格取得ビジネス・各種カルチャー教室・趣味系ネットサービスなど、この分野でも多彩な展開が行われています。

サービス・ビジネス分野では、自宅でプチレストラン開業・ITネット・結婚仲介サービス等々と多様です。

## 商店街や小売店のアプローチ

商店街やお店にとっても、シニア消費の取り込みは極めて大切なテーマです。特に、団塊の世代が大量に退職するということは、従来の昼間は会社へ通勤、夜のみ地域に帰ってというベッドタウンの関係が一変して、昼間が地域における主たる生活行動圏となるということです。こうなると、あらためて商店街として、お店としてこのシニア層への対応が強く求められることになります。

東京都品川区のある商店街では、商店街の中のお店で扱っている商品を使って「健康教室」とか「料理教室」「スポーツ教室」「理美容教室」などを行って、生活に役立つ知識を身につけてもらうこと、そして参加者の声を集めてお店の利用促進を図ろうという活動が行われています。その教室には定年を迎えた団塊の世代など、参加者の中から専門スキルを持つ人を選定して講師を務めてもらい、それを通じて参加者同士の交流及び地域デビューの場にしてもらおうとの狙いで実施されています。まさに、ホビー・カルチャー活動において、地域



交流の場づくりが行われているケースといえます。

この商店街では、この他にシニア向けサービスとして、「電球が切れた」とか「庭の手入れ」といった、ちょっとした困りごとに対する「相談窓口」を商店街内に設置、商店街の共通商品券を利用することで有償ボランティアのサポートが受けられるというサービスが行われていたり、商店街への来場者が気軽に立ち寄って、血圧などの測定やシニア向け商品の紹介、特売・サービスなどを実施中のお店を紹介するという「シニアサロン」としての活動が行われています。

新たな接点をつくる



## モノの販売から生活の楽しさ提案

シニア消費の取組みに向けて、各業界が積極的に活動を進めているのですが、従来の傾向と大きく異なることのひとつに、シニア消費は「モノ」の大量消費に直結するかというと、必ずしもそうではない側面があります。つまり、モノ余りといわれる今日、モノそのものに対する所有欲はかなり関心が低く、「モノやサービスを上手に活かして、面白さや豊かさを楽しむことができること」「新たな楽しさの意味づけをつくる」などといった、少し分かりにくいのですが、そんな要素を引き出してビジネスに結びつけていくことが大切なことといわれています。

以前、TVのヒット番組に飲食店の代表者や店舗のご主人、サラリーマンなどが集まって「おやじバンド」を結成して楽しむといった場面がありましたが、この場合は楽器や衣装、バッグなどがモノで、おやじバンドが「意味」ということになるのかもしれませんが。

そんなことを考えるためには、シニア生活の豊かさや楽しさの提供には、シニアがこれまでに培ってきた、知識・考え方・人間関係・モノなどについてよく知り、それらを上手に発揮してもらう場とか機会づくりの考え方が大事な要素となってきます。

## あらためてシニア層との架け橋づくりを

ある商店街では年に数回、商店街が主宰して「ダンスパーティ」を企画・実施しています。このときは近隣のダンス教室にも声をかけ、模範ダンスを見せて教室のプレゼンテーションの場を設けたり、興味のあるお店のメンバーも参加するというよう

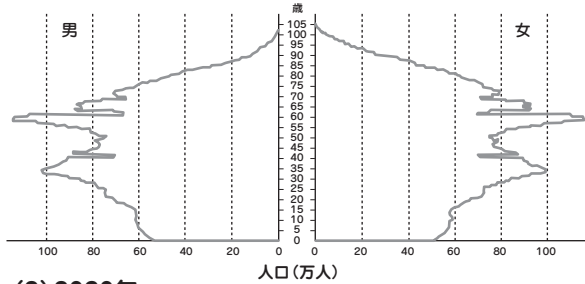
に内容やアイデアが盛りだくさんですが、これによってファッションとしての衣装、シューズ、アクセサリーなど多くの商品が動く（売れる）のだそうです。

シニアの消費といっても、その対象は幅広いのですが、団塊の世代の特性といわれる「感性豊かなこと」「豊富なスキルを保有してこと」「行動派であること」などをイメージにおいて、あらためて自店の商品やサービスを関連づけること、意味づけを想定することなどを行い、「接点づくり」を課題にして考えてみてはどうでしょうか。

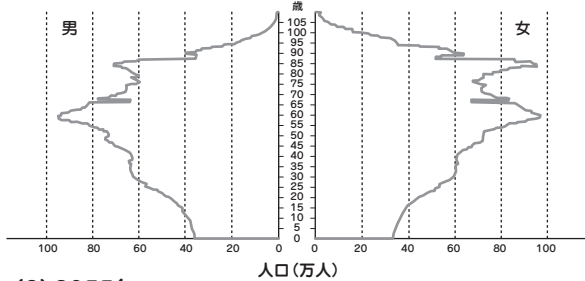
うまくマッチすれば、そここのところから「新たな魅力づくりのチャンス」が生まれる可能性がありますし、商店街の場がシニアにとって楽しい社会活動の場となり、そこから新たなパワーが創出される可能性もあります。

### 人口ピラミッドの変化

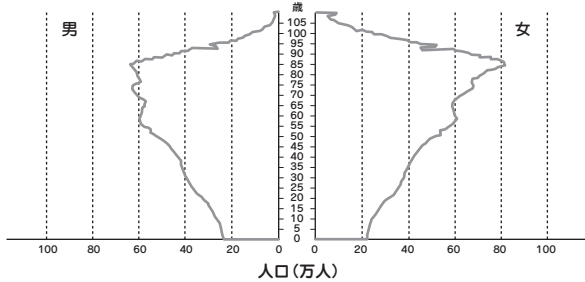
(1) 2005年



(2) 2030年



(3) 2055年



(出所：第一生命経済研究所)



### ◆ 筆者プロフィール ◆

吹田市商業相談員 中坊 久継氏  
 中小企業診断士 (株)NMR流通総研 代表取締役

商業活性化や地域振興、街づくり、経営革新などその実績は豊富。平成11年度経営診断シンポジウムで中小企業庁長官賞受賞。コンサル・テーマ「改革推進」をもとに活躍中。平成14年度より吹田市商業相談員に就任。

### 中坊先生の商業相談

吹田市では商業の経営に関することについての相談を実施しています。

無料ですのでお気軽にご利用ください。

・ 市内相談日…毎月第3木曜日 (午後1時～午後5時)

・ 市外相談日…毎月第2・4木曜日 (午後1時～午後5時)

相談は予約制で、相談時間は30分程度です。相談を希望される方は産業にぎわい創造室までご連絡ください。



## についてお知らせです。

SUIOTAは、吹田市が株式会社クークーに委託し構築してきた吹田市商店街及び商店ポータルサイトです。平成23年度末（H24.3.31）で、吹田市の委託事業は終了し、平成24年度（H24.4.1～）からは、株式会社クークーが自主運営することとなります。吹田市内での商店街・個店・事業所様への情報収集や営業活動などは全て株式会社クークーが行いますのでお知らせいたします。なお、平成24年度以降も、吹田市と株式会社クークーは協定書を締結し、行政の情報を提供するとともに、広報活動にも協力してまいりますのでよろしくお願いいたします。これからも、SUIOTAを御活用いただきますようお願いいたします。



### 【SUIOTA運営会社】

株式会社クークー

<http://www.sui-ta.com/> (パソコン)

神戸市中央区琴ノ緒町5-6-21 三宮セキビル6F

<http://www.sui-ta.com/m> (ケータイ)

(電話) 078-221-8699 (FAX) 078-221-9699

## 東京都足立区の商店街における空き店舗活用事業を御紹介します！

### ～ 区の補助金を活用してオープン！ 千住大門商店街 「カフェしゃべり場」 ～

足立区の北千住地域では帝京科学大学（平成22年4月千住キャンパス開校）や東京電機大学（平成24年4月・御茶ノ水から移転する形で開校）など、次々に大学が開校され、多くの大学生・教職員の乗降客が増えることとなりました。特に帝京科学大学の通学路となる千住大門商店街としても、千住キャンパスの開校は大きな環境変化要因となり、学生というマーケットを期待するとともに、4年間の大学生活の思い出の



1ページとなる商店街を目指し、学生と地域の交流の場を設けるため千住大門商店街の理事長である田口美恵子氏が、空き店舗にコミュニティカフェ「カフェしゃべり場」を開業されました。理事長と商店街内の店主が、運営をお手伝いされ切り盛りされています。またカフェでのメニューだけではなく、商店街内の他の店舗で購入したものを持ち込めるシステムとなっています。視察時には、地域の方々の憩いの場となっており商店街内のお休み処となっていました。今後は、NPO法人などと連携し、カフェの中で学生たちのアートギャラリーを設けたイベントを実施するなど、場所を有効活用し、学生との交流の場という概念を超えて集客力を向上させるため、いろんな手立てを考えておられました。

### ～担当者からのお知らせ～

吹田市では、商店街等が空き店舗を借り上げ、チャレンジショップなどに活用する事業を実施する場合、その費用の一部を補助しています。今回の足立区のカフェについてもっと詳しく知りたい！自分の商店街も空き店舗を活用したい！など、どんなことでも相談にのります。お気軽に御連絡ください。

市役所産業にぎわい創造室（4月から地域経済振興室に名称変更）06-6384-1356

# ビジネスコーディネーター訪問記 Vol.4

吹田市ビジネスコーディネーター 藤井 正秋



## ～ ビジネスコーディネート事業の成果 ～

吹田市でのビジネスコーディネート事業は平成21年7月にスタートし、本年3月末で、2年9ヶ月に及んだ当初の事業期間が終了します。その間、ビジネスコーディネーター5人で市内のものづくり中小企業をおよそ350社訪問し、貴重なお話を聞かせていただきました。

この事業の第一の成果は、市の担当職員がビジネスコーディネーターの報告を基に、企業の顔（事業内容）が見えるようになったことです。これまで、行政の補助制度や顕彰制度は役所から一方的に周知するのみで、事業者の活用についてはただ待つばかりでしたが、この事業を通じて、各制度を各企業に具体的に紹介できるようになりました。その一方で、事業者の方々には利用できる制度が意外に知られていないということも分かりました。今回の私達の訪問をきっかけとして、新しい融資の活用、「おおさか地域創造ファンド」の補助金の取得、事業所における許認可に関わる相談、事業者のための工場や研究機関の見学会、なにわの名工としての個人の顕彰などにつながり、お役に立てたことをうれしく思っています。また、様々な事情で事業所を移転せざるを得なくなった企業に対しては、吹田市内の用地情報を提供することで、市内で新たな移転先を見つけていただくこともできました。

第二の成果は、セミナーを通じて新しい事業のきっかけを提供できたことですが、具体的な成果はセミナーそのものよりも、その場での参加企業による自社PRを通じて、企業のマッチングにつながる場を提供できたことです。企業間のマッチングについては、少ないながらも成果を上げることができ、現在もさらに2件が進行中です。

第三の成果は、求人がある企業に対して、「JOBナビすいた」などの紹介を通じて具体的な人材の提供ができたことです。

第四の成果は、市役所のホームページ上に市内のものづくり企業を紹介するページを設け、希望があった企業の情報を掲載することで情報発信ができるようになったことです。現在75社の企業紹介を行っており、この中には自社のホームページを持っていたり、加盟団体による紹介ページがあったりする企業もありますが、そういったホームページを持たない企業にとっては、このページが情報発信のきっかけとして役立っているようです。

残念だったのはこの5年間で約150社の企業が廃業していることでした。しかし、この事業を通じて、面談させていただいた各企業のトップの方や担当者の方から理念や哲学をお聞かせいただき、私たちが成長できたことは大変大きな成果でした。御協力をいただき、まことにありがとうございました。

なお、次年度以降は、市の予算規模は縮小するようですが、この事業の継続が予定されているようですので引き続きご協力方よろしくお願いたします。（終わり）

### 【吹田市ビジネスコーディネート事業】

連絡先：市役所産業にぎわい創造室（4月から地域経済振興室に名称変更）

〒564-8550

吹田市泉町1丁目3-40

TEL：06-6384-1356 FAX：06-6384-1292



# 第8回神崎川畔さくらまつり

◆日時 4月7日(土) 雨天中止

★榎木橋メイン会場 (AM11時～PM4時) ステージ演奏／リバーサイドカフェ

★高浜橋口ハス会場 (AM10時～PM4時) ロハスイベント／リバーサイドカフェ

★浜屋敷会場 (AM10時～PM3時) 書の展示、墨絵の展示、落書きコーナー 他

◆イベント ●そぞろ歩きスタンプウォーク (PM12時～PM3時半)  
各企業のスタンプをもらってゴールを目指してください！

●神崎川さくら丸 (榎木橋～高浜橋約35分のクルージング)

片道：大人500円 小人300円 (岩手県銘菓つき！)

乗船券は出航の1時間前に販売開始。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。



主催：神崎川畔企業連絡会 (事務局：マロニー(株)内 / TEL:06-6381-2626 / 担当:西野)

後援：大阪府・吹田市・(財)吹田市健康づくり推進事業団・地元自治会 他

協力：NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会・吹田市JR以南コミュニティ協議会

## 地元密着型観光情報誌「すいたHoHoHo」好評配布中！



本市や各駅周辺地域の魅力を引き出した地元密着型観光情報誌「すいたHoHoHo」。今回(8号)は、これまでの全駅の総集編！！

・ヴァイオリニスト葉加瀬太郎さんインタビュー

・総集編特別企画 吹田と鉄道の深～い話 等

皆様是非お手にとっていただき、気軽に駅界隈のお散歩にお出かけください。

### ◆配布場所

市役所、観光センター、出張所、図書館などの公共施設のほか、市内駅のラックなど

### ◆問い合わせ先

市役所産業にぎわい創造室 電話：06-6384-2145  
(4月から地域経済振興室に名称変更)